

平成 2 9 年 度

健康福祉サービス自己評価結果報告書

報告書の内容

添付書類	添付した書類に○を記入
チェック済評価基準	○
評価基準概評	○
サービス改善計画	○

施設・事業所名：きらり庵 放課後等デイサービス

健康福祉サービス自己評価実施状況報告書

平成30年4月9日

滋賀県健康医療福祉部障害福祉課長 様

東近江市上中野町397
きらり庵 管理者 仲本 耕児

健康福祉サービス自己評価を、「本県における健康福祉サービス評価システムの推進について」により実施しましたので、下記のとおり報告します。

記

1 施設・事業所の名称

地域生活サポート

2 評価基準およびサービスの種別（該当の記号に○印を付し、サービスの種別を記入）

○評価基準

ア 障害福祉サービス共通評価基準①〔障害者／施設、グループホーム〕
（種別： ）

イ 障害福祉サービス共通評価基準②〔障害者（児）／在宅〕
（種別：居宅介護事業等）

ウ 放課後等デイサービス自己評価表

エ 児童発達支援自己評価表

オ その他の評価基準 （具体的に： ）

※種別（記入例：就労継続支援B型）

3 自己評価の実施時期（自己評価結果をとりまとめた時期）

平成30年4月

4 県のホームページで、自己評価を実施した施設・事業所の名称、所在地、実施時期、事業所での評価結果の公表の有無を情報提供することについて

提供してもよい

提供しないでほしい

5 自己評価結果の公表の有無（該当するところを□で囲む）

- | | | | |
|-----------------|-------------------------------------|---|--------------------------|
| ①市町への送付 | <input checked="" type="checkbox"/> | ・ | <input type="checkbox"/> |
| ②滋賀県健康福祉事務所への送付 | <input checked="" type="checkbox"/> | ・ | <input type="checkbox"/> |
| ③県庁障害福祉課への送付 | <input checked="" type="checkbox"/> | ・ | <input type="checkbox"/> |
| ④施設・事業所内での閲覧提供 | <input checked="" type="checkbox"/> | ・ | <input type="checkbox"/> |
| ⑤インターネットのホームページ | <input checked="" type="checkbox"/> | ・ | <input type="checkbox"/> |
| ⑥その他の方法での公表 | | | |

（具体的に：

）

6 サービス改善計画の公表の有無（該当するところを○で囲み、括弧内に記入）

- | | | | |
|-----------------|-------------------------------------|---|--------------------------|
| ①市町への送付 | <input checked="" type="checkbox"/> | ・ | <input type="checkbox"/> |
| ②滋賀県健康福祉事務所への送付 | <input checked="" type="checkbox"/> | ・ | <input type="checkbox"/> |
| ③県庁障害福祉課への送付 | <input checked="" type="checkbox"/> | ・ | <input type="checkbox"/> |
| ④施設・事業所内での閲覧提供 | <input checked="" type="checkbox"/> | ・ | <input type="checkbox"/> |
| ⑤インターネットのホームページ | <input checked="" type="checkbox"/> | ・ | <input type="checkbox"/> |
| ⑥その他の方法での公表 | | | |

（具体的に：

）

7 自己評価を実施して感じたこと、評価基準・ガイドライン等への意見やサービス評価について今後望むこと

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		利用希望の多い日は屋外活動を取り入れるなど、場所を分けて実施している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか			○	担当者以外は把握していない業務がある。今後共有を図る。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者会での意見交換と評価表アンケートで意向の把握を行い、業務改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			今回より公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内研修年3回。外部研修は必要に応じて機会提供している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	標準化されたアセスメントツールは使用していない。今後は、東近江圏域の共通アセスメントシートなどを参考に、ツールの開発を行う。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用時の興味関心に添ったプログラムを提供している。繰り返し行うことで定着を図るプログラムも実施している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			児童発達支援事業所と必要に応じて行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要と判断した児童については、助言を求めている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	保護者会で勉強会を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を実施している。保護者会においても、必要に応じて報告、説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			年3回保護者会を開き、保護者間の交流の場を設けている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			年1回、きりり庵まつりを開催。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			防災、防犯マニュアルが未策定。今後策定を図る。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			3か月に1回の避難訓練を定常化している。
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				当該事例無し
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	当該事例無し
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			その都度職員間での共有を行っているが、報告書としての整備が不十分。今後完備する。

保護者向け

放課後等デイサービス評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	8	2	もう少し広い方が良い。 今の大きさだからこそ子ども同士には良いのかもしれない。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	6	0	
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	1	0	
適切な支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(i)が作成されているか	14	2	0	
	5	活動プログラム(ii)が固定化しないよう工夫されているか	12	3	0	外食やお弁当を持ってのお出かけを増やして欲しい。 長期休暇の時、内容が固定化しがち。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	4	7	
保護者への説明責任等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	1	0	
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	2	0	職員によってばらつきがある。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	0	0	熱心に聴いてくれる。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	1	0	保護者会に参加させてもらって、とても勉強になる。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	2	0	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	0	0	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	3	0	
	14	個人情報に十分注意しているか	14	1	0	

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	4	1	防犯マニュアルが不十分。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	7	4	行えているのか分からない。災害時の避難場所、連絡体制のマニュアルが必要。飲食物の常備も必要。
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	14	1	0	家でできないことができるのを楽しみにしている。疲れているときは嫌がるが、おしゃべりできるので楽しみにしている。すごく楽しみにしている。
	18	事業所の支援に満足しているか	13	2	0	少しでも楽しくなるように色々と考えて下さっていて、助かっています。本人の様子等いつも教えて下さり、とても安心しています。(市に対して)支給日数を増やして欲しい。

(i) 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

(ii) 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

障害福祉サービス共通評価基準 概評 [各シート共通]

○概 評

①非該当とした項目の説明、②独自に必要なと思われる評価項目等、③項目評価を通じて気づいた点などを記入してください。

臨床心理技術職を配置していないため、発達検査等を行えていない。発達段階に見合った活動・支援を行う上で、何らかの標準化されたアセスメントツールは必要なため、検討してゆきたい。

○サービスの質の向上に向けて取り組む課題

前回までの評価において、サービスの質の向上に向け取り組む課題を設定している場合はその内容と進捗状況を、また、新たに今回の評価によって今後取り組むべき課題がある場合も、その内容を記入してください。

関連する評価項目の番号 大・中・小項目、着眼点	内容および進捗状況	新規 継続 終了	取り組みの期間 (〇年〇月から〇年〇月まで)
38	緊急時の対応マニュアル等の策定が不十分	新規	平成30年度
39	火災の避難訓練しか行っていない 地震、豪雨等の対応について検討が必要	新規	平成30年度

サービス改善計画書

策定日：平成30年4月9日

事業・サービス名：放課後等デイサービス

施設・事業所名：きらり庵

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考 (必要な予算等)
非常時の対応 38	どちらとも言えない	防犯マニュアル等が未策定	防犯マニュアル策定の検討を行う。 感染症対策については、感染の拡大を防ぐ方策について、実践する中でさらに検討を進める。	平成30年度	今井 仲本	
非常時の対応 39	どちらとも言えない	火災に対応する避難訓練しか実施されていない。	避難訓練の実施を定常化し、その内容が偏らないように検討、工夫する。			